KODAK Color Control Patches © The Tiffen Company, 2000
Kodak LICENSED PRODUCT
Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

伊地知文庫
文庫20
403
2

文庫20
403
P

伊地知氏書冊

○十四　海雲　はもとうすをとりつる事　如くはの[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]れたる所にて[illegible]
[illegible]ハ其世[illegible]
[illegible]
[illegible]

十五

樗　はまひさあさかいつる　宿の二人はしめ　賀茂の
ものの　乃ちかの　前斎院　とも　斎院
賀茂の　のりさてれり　神の　井　あさかの
まてもはいつ　みかの　ものの　ものの　ものの
乃ちけし　ものの　ものの　ものの　ものの
ものの　ものの　ものの　ものの　ものの

十六

ものの　ものの　ものの　ものの　ものの
ものの　ものの　ものの　ものの　ものの
ものの　ものの　ものの　ものの　ものの

と云ふを右馬頭はなをあるを以て貴賤共に
乃女房なれば殿へ参りてたゝせ給ふ事
姫とて右馬頭殿下一の人なれども
源氏はなをあるを以て惟光うしなひ
給ひてたゝせ給ふ毎に思ひ〻のそれ
ぞれ〻〻者源氏をうれはしく
思ひ給ひ給ふ事ども人
をそれも今八年ばかりぬんと
ぞ〻毎に云ふ

しなんとは能世の人
面白きものと云ふ
惟光の娘は右馬頭殿
見て源氏の御子
夕顔の花とぞ
云ふ

しなの御方の
又は面白夕顔乃花
ひとり花の内に
花ぬ入りとて
ゆく〻なめけ〻

しめのもとの
毎に
花毎ノ花ニ
花ヲ
はをとり
ゆく〻
はひめこと

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]の[illegible]ことも[illegible]は[illegible]南北[illegible]町あり裏の[illegible]方とて花
菊屋とさすし[illegible]花[illegible]牡丹をうし
菊屋の[illegible]のみあり[illegible]梅つたとかた
条の清昌[illegible]ひとめ源氏の[illegible]の娘な
れと二四の町より伯[illegible]
[illegible]秋の[illegible]秋の野をそ
[illegible]来る紀[illegible]氏の[illegible]
[illegible]の町は四[illegible]
[illegible]の[illegible]
[illegible]秋の野への[illegible]紀五[illegible]

[illegible]は四とよ[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

花園のこと[illegible]

[illegible]

花紅葉殿御庭のこと[illegible]

十七 玉鬘 はつせもうでとていつまし玉鬘ひめ君

[illegible]

ひくく源氏よりつかはしたるとて[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

れるのはまことに神の御恵なり
くをのがるるこころにぬしをたづねて
中ゝ四人の上代の方人多くうつり給へ
ばまづ四いらせ給ふ源氏の御恵をひめて
かへりて代より年をへて源氏の御恵
んうあはれとやうにうつり給ふ
源氏の上代の方人の外にうつり給
とうあはれ源氏の御恵
引とやうにうつり給ふ
うつりのこるのはいかなる
のこるのこるのはいかなる

こゝろのとまるまゝにゆゝしき
ありこゝに紀ありちとうまはしまはゆるとい
又紀ありぬるはいかなるこゝろにかゆゝ
ずとうとそうつり又紀ありの
の事はこゝにくりとはけるなるみ

歌等 初音

はまにちとうとはいかるなるすべて
源氏上代清女まるこゝ宮一百四方人
世ゝにいかるる

三月廿日ばかりにはれくるかの
ゆくとて侯ゝにゆゝ五月ばかりの雲

付て第五の歌のねがもちこゝろをつ事
付て又はまたはるとゝめのいとひ心もいかゝ
るふかきの源氏よりとゝ色もりしる色深き
蔭ゆ見けめ池の後あ無よりもりの色新
なりと後をつりはんゝと知合く初るよ
付て

蟲并胡蝶　はまたこゝをつ事ひとゝ八源氏右
なりと色ゝ事ゝ御後絵とゝいとめ事忘色
仏生経大般若経とゝもいとり秋こゝひ中家
六条院まゝてはこゝ色ゝ色ゝ色ゝ

仏ゝ花ゝ事ゝ中ゝ家ゝ色ゝ鳥蝶ゝ事ゝ
御ゝ色ゝ秋ゝ山ゝ秋ゝ事ゝ事ゝ物ゝ事ゝ
こゝ花ゝの夏海ゝ人ゝ乃ゝ巻ゝ事ゝ
園ゝ四ゝ事ゝ花ゝこゝ所ゝ人ゝ色ゝ
の巻ゝ事ゝ胡蝶とゝ西ゝ色ゝ事ゝ
きゝゝ夏ゝ仏ゝ心ゝ色ゝ事ゝ
ゝ事ゝ色ゝ心ゝ色ゝ

蟲并螢　はゝ色ゝ色ゝ事ゝ色ゝ色ゝ
てゝ色ゝ色ゝ色ゝ色ゝ
中ゝ色ゝ色ゝ色ゝ色ゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

源氏の大臣はそこめきたる
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

五段

并御幸　はるかに西をさして幸し給ふ野の行幸
世ばみの紀とは世をとは源氏の長ひの山の清泉
流をそ汲まし給ふ大原野の行幸
なりなり奇特の事なり大原野の行幸
御特さて行幸のみなれとはいえ
ふる紀なりとて

并藤袴　はるかに西をさして幸し給ふ野の行幸
藤袴とは
秋の野に藤袴とは
秋の野に藤袴とは
秋の野に藤袴とは

頭中将と夕雲雀と源氏の君と頭
中将と夕雲雀は女房の方にこれ
相撲はいかにとて夕雲雀の
あるはうを思はせ源氏は
夕雲雀を
とこそ
源氏は
夕雲雀

[illegible]

[illegible]

[illegible]

上はれのもの御ゆひて先はたらくも思ふ所あるを
くれぬ○こん御ゆくを物の意ニ成ぬ所ゑ
とも何とかくさやうの方あるより此中をあく御ゆ
ろよくむろくるあてハ和とこはれいろのんう
つろひてくやとあ侍ん物小の方ハ仕ぬ
くて意ニ成ぬ所の程ハ成ぬ
ものもあくてもかくるくるくる
はれ事ハ大ニ成ぬ所ひるもあ失ぬあ
しくものめさなるまれり所ゆやまて機ぬく
ゆるゆなけさ侍ゆ
もやけあとせ申れよりいとゆくめて
行て此ゆるかくるれ
知ろはい　京　うとむ　かくいう事
はくはい　時々也はあるを知けるとて八ハうあ也
ひけろくれり御ゆくに方ニ御源氏のやう
ろくるものさ方ニ京れ
御の程ハの函ゆけてくるくるくる又柏
木はあ侍ハ宮ゆあて内
の内御をろいるくれ
ろくるゆ
ろくるもこんハ

見てねたと侍りしは大納言殿と相撲をとりしに中将と
もひいれ相撲をとるとハ花をひきたるなり
たとへはくるかの侍りしなり也

十八 梅の枝 はるのもあるえとりの事 宮腰の乃比源
氏物語に宮腰あるを見ハあり
此と乃比腰乃姫ゑんまをゆるしていい
とおもひ給へるをくるをとこあ
ゆるくやうとおもはゝ方あり 梅乃
枝よりはみ付くゑんるの法りなるたさ相撲なり

五葉の松よ付られるとをゝみ

花乃名ハ梅乃枝みを梅乃ゑんるの法なるたさ
とあるとおもはゝ五葉乃
枝よ付るみ 梅乃枝なるもひやうなる
とるもつかとい梅乃やうをゝ
名乃歌乃ゑんるの法なるたさ
見あるもゝ乃ゑんるの法なるたさ
をゝ梅毛乃ゑんるの法
ゑんるの法なるたさ
ゑんるの法なるたさ
ゑんるの法なるたさ

[illegible]と言られ侍べ[illegible]
と思ひもよらぬ[illegible]
[illegible]

花乃[illegible]
[illegible]

めづらしと[illegible]
[illegible]梅[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

又行幸ありしかり後白河院と申ハ法皇
朱雀院まてはかりまする法皇ハ人々とたちの高貴
ハかりの人々なれとも和歌ハ法皇ハ両院まて
まさる源氏の流れ歌人たる人乃法皇より
たしなれる歌ハ法皇ハ後鳥羽院の御歌
ハ法皇の御歌と申すくらいなれとも
ハかりの人々なれとも和歌ハ

東国上 上者ハ東国の国名
なりけるに大なる乃小野方よりくいしらるる
こと二百の国ひけまして二百ハ源氏乃院の

御方へ子ハ乃ひとりよりの子ハ法皇乃御ひとり
くらいなれとも

東国 東国の小野乃山ハ
小野 小野乃ことハ法皇
ハかりの人々なれとも和歌ハ
年ハ法皇ハ源氏乃法皇
ハかりの人々なれとも和歌ハ
ハ六十乃年より十
いらさ大臣乃ひ薬樂ハ
一家乃一大事なるものあるとなる

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
めいまのいはうひ六条院すゑ出給ふ事なるみを
ちくれなるくゝ清涼殿せんとれたるとれてみを
のうちよりこゑの音聞めはたる御[illegible]
つるゝいるさうこゑ[illegible]
縄をつるくゝとて[illegible]
[illegible]吹あはせ女房[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
源氏[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

のみ　そこと　みとり　[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ひとの明風なるをひきあるくみゝに毎日のごとく八たん
ありこれをめでゝ柳はなをあるひとの花に
ゝらハ五月白毛ゝらもれの花はもゝ郭とれ
うゝ義経なりけるゝ武蔵坊弁慶きの
そ行ゝ毎日ゝ郭ゝ分つゝふるゝ毎日ひとの郭
ものをきゝ北郭のゝ郭ひとゝ毎日ゝもとゝ
空よりハゝろハ毎日ゝ郭ゝ毎日ゝもとゝ
一ゝゝゝ

[illegible]

十一 柏木 は巻かの名とはいふ月卿雲客の名也
[illegible]
[illegible]
[illegible]

ゆゑもなく死れ煙となりあるものとなれば
一
今はとてのこり煙もとけすかれ跡なき死骸を
むとりあつめ女房乃家に清めて
三月ひとく清やとの間まるこの間焼てと
みやこの清ばかり女房乃ちりとてをはかりれ
極楽あらたのきこゑ聞のうちに女房乃
大ぜいうち打連清氏ハ遠ゐ所ねれ人乃
じうるは精進にてそのゆゑ清めまて
三日間引籠ること申りけれい乃ちられい

さうて死清乃うちにてなきかなしみ
まんぢゆもまいさ面あれ
のゆゑすてみかとりとみれかりくあ清つてま
やとおとうの死にん死清分のうちに松れ
父淺乃ちあさ野ひとく清盛れ乃ちを
ろうのかこれ死ているくやまひ松とりくた
みき清り此松り夕雲ハかの大病ちみつとむ
これ〳〵いとまもうちつはまひとさ面くひ
たとて故ゆゑ乃うちゆもらくいひとうれた
やみとさ死ちてこれ女房心ちをこ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

夕雲　はまぢのつゝ[illegible]
[illegible]ゆゑなり　ゆふ雲の
雲といふ　[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

むし殿なんあ毎かたく風の内にこもれるのたとへ
はなきなり。清あさうなるいろなんあるを毎みと称かけ
るくさまていあるりしかとも三重めくいろを
ぬりこめるてたとへはくいんのくらの内
面のはかりつくくとこ内らはくくこと記
りさるふんらくくしぬの内ちこんらせしと日ちるうちは
つるくたるのまるくちくくんは仏事
を弥すくく秋のくく風きくくしく吹出れ
ぬりなるみ出時反ちれ使あり出るみ

いの自の鉢さんとれたるくぬ重の袖み表
を表ちるかあり。はんハむ大なるハ内毎あ内色
かれ紙ものとこの比花まのれく紅かめ物く
信ち内ち花梅み表みやくくくくくくくみ
表ちはむの今ちかりたる大内秋の世ち
ちれ水信ちり紙ちいれのりきちりみちのか
ちあち内ちたく紅かめ出ちくんみとかち
れこ内ちの内からなんと思ちくくちかんせん
てんなあやらた内ちくくとて美みる内
紙ちり。ちるれは別内ちくくれ秋の内まちく

かたち秋こそむ月中夜より出使あり

[illegible]

[illegible]

[illegible]

かゝるくきのうかゝ御前にて人々の紀貫之
とゝ[illegible]たゞ[illegible]きみ[illegible]のめかれくさ[illegible]かゝれる梅の花
はそ[illegible]梅あるはゝ咲[illegible]
いくあられのゆきかな[illegible]
[illegible]
よとあられあく

今はてあゝ[illegible]人々の紀貫之
[illegible]
[illegible]
[illegible]

我ゝ[illegible]人々[illegible]
つんと[illegible]
の[illegible]
毎[illegible]
り[illegible]
[illegible]

[illegible]人を思ふ[illegible]
部[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

とりあへず書くるなり。かの侍従のもとさ
てをはりにこそめ。月のころあいまとをはいつる事
に後ちくを記とり給へ。みかの国秋をかのひな
ぶ。**神無月**あい方共宮を時分なくあられも
ことをあつくくゆるとなく雪紙もなるをて興
ろとしつる方侍後に毎月を十日ばかりよりの
よハ人の事ばかりの中れかりの日新を
みるとこひ毎に行かいいるけるに毎にすもち
行れにあや侍従ふ人こえん侍ふを行ふ
あれかくくるもや美物さを毎まるみ侍ふの剣
一

乃れりかきかるを行剣にみい毎のやうる書つき
侍ふ事みあとハくをものかくこ也めくは世ふ事
うあに剣をうめもかけき後ひりんよと侍ふ
侍かれれあてる毎ふみ方に風侍毎
らりうを行をくいるんをまそりわれれり
りんまれあつやくりゆしてかるは今ふ侍ふみ
かきあつてをるもかるきりかるよれの毎井
北糖ともれと後ふれ侍ふれ侍のもれりひ毎も
やんをふ言紙侍をふ行ふ毎
あまるれてをつやをくれれをこひをふよ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

○廿六 豊源 けまの花ゆみやつこす左右馬の頭なを八幡
せいのすゑなれと光源氏と中せハくもりそれよ
れたるなり也ひとりの御ゆゑ也ゆゑ也いとも
月はなとをもをもしくれとうちうちする〳〵

○廿七 自身新枕 けまの花ゆみやつこすとは中将三
位家とかたてむすこ花の宴ひとりもまろひく
梅梅ゆゑ〳〵自身中文ハ清涼殿源氏
乃内侍也 けう元殿 服をうちしくをうの家を
ゆゑ〳〵うちまぎれく源氏
しきゆゑ〳〵なりかの中将と云ハ

あ三乃家ゆゑ〳〵自身ハ源氏乃子自とは
柏木の右大納言乃子也 けうも元服しく
きいせんゆゑ〳〵源氏たゝ世の中をし
とゝのゆゑ沈よのこゝろをもくをかくけう
れい三ひとく四月とのつゝかいてハ世のか
りゆゑ〳〵うちゆゑまひりをひ風りく自のゆゑて
ゆゑひとり三乃家を沈うゝやゝゆゑてもとこゝろ
て春ハ自ゝ花の春なとゆゑ〳〵ゆゑ自ゝ春ハ
花梅乃神の春をつゝく秋かれ行春を自光
と思ふゝ月ゆゑても自ひをあつめてをつゝ自ひ

かりく桜の花をとり人〳〵自分勝手と思ひて
くそ沼氏のに投あはせ言ふ人々の心ばせ
りかたりされい仏の御かれをひ投あるん世の
御をこそひ仏の御自分をとりこそ思ひ
まは花をの白のこめも使ひ自分といふ
ものあるひとあつめ人をかりまいこの
つかりかりさん所付て

白梅

梅の花や嵯峨北野の山里

竹川 はまきたかとといふ

竹川のたちもの一つよ海の北の方をいふ

とつ方を世記けるの沖を投大原や宮ね
ものたり桜うかく投玉かつれ沖海よ姫三
人たりまはすさうをみ弱ひてのかく引つ
くたりかりかりたるのまこ宮仕の伝説と
てたり海のたは投姫三宮仕の伝説
屋人たりかく姫三乃北伝説とそ
れさるの時あそもかく伝説文行の法
夕雲乃大臣の小人方東井乃北藤乃西子
義人乃かねとひけこの伝かけくある夕
くれは記あこんこの花乃かけあそ春行こ

せうひ[illegible]ばかりいとくるしけれ[illegible]竹川
る碁をいとうるはしんうるへし
あるとき[illegible]せうしの義にあの人なほうる秋
月とのハとていとうるはしんうるへし[illegible]ハ
雲はれ　碁　かりまけ　花のかけ
かの海　みていて事なけれ[illegible]されども
くの恋もいとうるはしんうるあるこれハ泉涼へ
年りのこんかて[illegible]
そて此間結ふ[illegible]味のこれハ[illegible]
あれひんよ海[illegible]
[illegible]

竹川のたて法あむ[illegible]番[illegible]
うん　あ[illegible]
句意
并　[illegible]
細云[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]